図書室だより

２０２５・夏号

中学版

夏休み中は10冊貸出 OK！

今借りた本は、夏休み中借りられます。
返却日は８月２５日（始業式の日）です。
マンガ以外の本を５冊借りると、ガチャガチャができますよ♪

令和７年度課題図書

『わたしは食べるのが下手』

少食で食べるのが遅い葵は、食事の時間が苦手。とくに給食は…。保健室で出会った咲子も食に関わる悩みを抱えていた。食べることを強要される給食に生きづらさを感じている二人は給食改革に乗り出すことに。

天川 栄人／著
小峰書店

『スラムに水は流れない』

インドのスラムは極端な水不足に悩まされ続けていた。そこで暮らす少女ミンニは水に関わる事件に遭遇する。
家族の絆、友情、そしてインドの「今」を描く勇気と成長の物語。

ヴァルシャ・バジャージ／著
村上 利佳／訳
あすなろ書房

『鳥居きみ子 家族とフィールドワークを進めた人類学者』

「知の巨人」ともいわれた夫の鳥居龍蔵や家族とともに、人類学の研究に取り組んだ鳥居きみ子。女性の社会進出が困難だった時代に、モンゴルや台湾でフィールドワークを行い、民族学を発展させた。様々な困難に直面しながらも乗り越えていくきみ子の生き様を綴る。

竹内 紘子／著
くもん出版

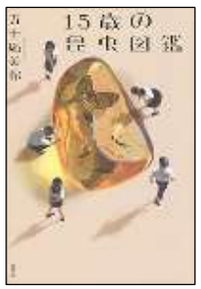
令和７年度岡山県指定図書

『これから大人になるアナタに伝えたい１０のこと』

戦争孤児として７歳まで孤児院で育ち、来日してからも貧困やいじめに苦しむ半生を過ごした著者。未来の大人に向けて、自分を愛し、他者と手を取り合って生きていくことの大切さを伝える。

サヘル・ローズ／著
童心社

『１５歳の昆虫図鑑』



中学３年生の４人。それぞれの悩みや葛藤を抱えて、ままならない日々。転校生の吉岡は必要以上に周りの目も気にしないし、自分の思いにまっすぐ突き進んでいく。そんな彼女との関わりを通して、大切な気づきを得ていく。

五十嵐 美怜／著
講談社

『アフェイリア国とメイドと最高のウソ』

２か月間雨が続くアフェイリア国。首相は職務を放棄して、逃亡してしまった。首相不在の間、首相の影武者をすることになった 15 歳のグローリア。最初はいやいやだったが、国の視察で水害に苦しむ国民や、ひどい労働環境を目の当たりにするうちに、本当に国を救うためにはどうすればよいのか考え始める。

ジェラルディン・マコックラン／著
大谷 真弓／訳
小学館

《夏休み中の開館について》

7月29日（火）、30日（水）、31日（木）、8月1日（金）
8時30分から13時まで開館します。

新着図書のご案内

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。Another』

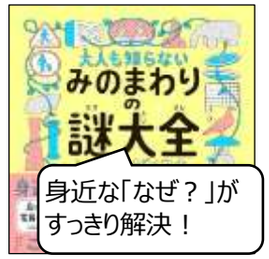
『あの花が…』の続編。登場人物たちのその後が読める短編集。

『サイレント・ウィッチ 沈黙の魔女の隠しごと』

気弱で臆病だけど最強な魔女の痛快ファンタジー。

『中学生からの最強の勉強法』

『みのまわりの謎大全』



身近な「なぜ？」がすっきり解決！

『メダリスト(13)』

今号も熱い！
フィギュアスケートの世界を描く大人気マンガ。

『すごすぎる天気の図鑑 防災の超図鑑』

『大阪・関西万博ぴあ 完全攻略編』

『万博をとことん楽しむ本』

夏休みに万博に行く予定の人は、ぜひこの本で下調べを。